



### 総務文教委員会

#### 所管事務調査内容

- 自治会の現状について
- 富士宮市の公共交通の確保について（政策課題）

#### 【松永 孝男 委員長 コメント】

自治会の現状については、令和元年度に行われた自治会アンケート調査結果により、自治会の抱える問題点や現状について説明を受けました。

富士宮市の公共交通の確保については、「宮タク」の利用状況の説明を受けました。高齢化や過疎化の進む中で安心安全な地域づくりのための自治会のあり方や、周辺地域の皆様の生活の足として誰もが利用しやすい宮タクを目指して検討を進めます。



▲会議室で協議する委員会の様子

### 環境厚生委員会

#### 所管事務調査内容

- 富士宮市が目指す地域循環共生圏について（政策課題）
- 新型コロナウイルス感染症に係る放課後児童クラブの対応について

#### 【中村 憲一 委員長 コメント】

地域の特性に応じて地域資源を活かした自立分散型社会を形成し、近隣地域と補完し支え合う地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業は、令和2年度も元年度に引き続き、環境整備を継続する活動団体として当市が環境省から選定されました。令和2年度の主な取組として、ESG金融<sup>(※)</sup>と連携したビジネス的支援がありません。

また、新型コロナウイルス感染症対策による学校休業に伴い、放課後児童クラブで3密が避けられない状況が発生したとの認識から現地調査を行いました。利用自粛の要請等、ソフト的な対応で3密を回避したとのことでしたが、ハード的には施設のみでの運用では大変厳しい状況です。教育委員会と連携し学校施設の活用も検討することです。施設形態が専用施設や借家があることについても、改めて課題が抽出されました。

※ ESG金融とは、企業分析・評価を行ううえで長期的な視点を重視し、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）情報を考慮した投融資行動をとることを求める取り組み。

### 産業都市委員会

#### 所管事務調査内容

- 市営大岩住宅・市営粟倉住宅の現状について
- 新型コロナウイルスの産業への影響について
- 滞在型観光について（政策課題）

#### 【植松 健一 委員長 コメント】

市営大岩住宅・市営粟倉住宅の現状について現地調査を行いました。大岩住宅は築54年、粟倉住宅は築47年が経過しており、市営住宅長寿命化計画のうえで検討の必要性を確認しました。

次に、新型コロナウイルスの産業への影響について、現時点での影響を確認し、委員会からの要望について話し合いました。

滞在型観光については感染症対策にも適応しやすいアウトドア観光の推進を図って行くということで意見が一致しました。



▲市営大岩住宅の現地調査